

平成23年度決算公告

平成24年6月28日

東京都港区新橋6丁目1番11号
もつとぎゅっと少額短期保険株式会社
代表取締役社長 山崎 邦充

平成23年度（平成24年3月31日現在）貸借対照表

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金及び預貯金	1,429,847	保険契約準備金	453,935
預 貯 金	1,429,847	支 払 備 金	74,094
有形固定資産	1,243	責 任 準 備 金	379,841
その他の有形固定資産	1,243	代 理 店 借	24,240
無形固定資産	23,848	そ の 他 負 債	40,276
ソフトウェア	23,848	未 払 法 人 税 等	23,665
代理店貸	49,635	未 払 金	13,372
そ の 他 資 産	42,399	未 払 費 用	2,299
未 収 金	41,545	預 り 金	853
前 払 費 用	348	そ の 他	85
未 収 収 益	291	退 職 給 付 引 当 金	3,091
立 替 金	213	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	6,540
繰延税金資産	11,901	賞 与 引 当 金	5,048
供 託 金	42,000	役 員 賞 与 引 当 金	1,950
		負債の部合計	535,081
		(純資産の部)	
		資 本 金	1,000,000
		利 益 剰 余 金	65,793
		利 益 準 備 金	20,400
		そ の 他 利 益 剰 余 金	45,393
		繰越利益剰余金	45,393
		株 主 資 本 合 計	1,065,793
		純 資 産 の 部 合 計	1,065,793
資産の部合計	1,600,875	負債及び純資産の部合計	1,600,875

平成23年度 } 平成23年 4月 1日から
平成24年 3月31日まで { 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
経 常 収 益	904,878
保 険 料 等 収 入	903,770
保 険 料	903,770
資 産 運 用 収 益	1,105
利 息 及 び 配 当 金 等 収 入	1,105
そ の 他 経 常 収 益	1
経 常 費 用	823,560
保 険 金 等 支 払 金	163,828
保 険 金 等	153,796
解 約 返 戻 金 等	10,031
責 任 準 備 金 等 繰 入 額	149,807
支 払 備 金 繰 入 額	36,706
責 任 準 備 金 繰 入 額	113,100
事 業 費	509,925
営 業 費 及 び 一 般 管 理 費	473,626
税 金	8,774
減 価 償 却 費	18,849
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	2,134
役 員 退 職 慰 労 引 当 金 繰 入 額	6,540
経 常 利 益	81,318
特 別 損 失	2,233
税 引 前 当 期 純 利 益	79,084
法 人 税 及 び 住 民 税	46,225
法 人 税 等 調 整 額	△4,031
法 人 税 等 合 計	42,193
当 期 純 利 益	36,891

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却の方法

(1)有形固定資産

定率法によっております。

(2)無形固定資産

定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

2. 引当金の計上基準

(1)貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、回収不能見込額を計上することにしております。

なお、貸倒懸念債権等については、該当事項はありません。

(2)役員賞与引当金

役員賞与引当金は、役員に対する賞与の支払いに充てるため、期末における支給見込額を基準に計上しております。

(3)賞与引当金

賞与引当金は、従業員に対する賞与の支払いに充てるため、期末における支給見込額を基準に計上しております。

(4)役員退職慰労引当金

役員退職給付に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額により計上しております。

(5)退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額により計上しております。

3. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額は 13,962千円であります。

2. 関係会社に対する金銭債務の総額は 2,079千円であります。

3. 支払備金の内訳

普通支払備金	12,392千円
既発生未報告損害	61,701千円
計	79,094千円
同上に係る出再支払備金	— 千円
差引	79,094千円

4. 責任準備金の内訳

普通責任準備金	289,253千円
異常危険準備金	90,587千円
計	379,841千円
同上に係る出再責任準備金	— 千円
差引	379,841千円
その他の責任準備金	— 千円
合計	379,841千円

損益計算書に関する注記

1. 関係会社との取引による費用総額は 9,828千円であります。

2. 主な収益及び費用に関する内訳

(1)正味収入保険料

保険料	903,770千円
再保険戻戻金	— 千円
計	903,770千円
再保険料	— 千円
解約戻戻金等	10,031千円
差引	893,739千円

(2)正味支払保険金

保険金等	153,796千円
------	-----------

回収再保険金	— 千円
差引	153,796千円
(3) 支払備金繰入額 (△は戻入額)	
普通支払備金繰入額	7,823千円
既発生未報告損害繰入額	28,882千円
計	36,706千円
同上に係る出再支払備金繰入額	— 千円
差引	36,706千円
(4) 責任準備金繰入額 (△は戻入額)	
普通責任準備金繰入額	86,278千円
異常危険準備金繰入額	26,821千円
計	113,100千円
同上に係る出再責任準備金繰入額	— 千円
差引	113,100千円
その他の責任準備金繰入額	— 千円
合計	113,100千円
(5) 利息及び配当金収入の資産源泉別内訳	
預貯金利息	1,083千円
有価証券利息	22千円
合計	1,105千円

税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産	
支払備金繰入限度超過額	6,095千円
責任準備金繰入限度超過額	27,882千円
賞与引当金	1,709千円
役員退職慰労引当金繰入額	2,013千円
その他	2,083千円
繰延税金資産小計	39,784千円
評価性引当金	△27,882千円
繰延税金資産合計	11,901千円

金融商品に関する注記

1. 金融商品の状況に関する事項

資産運用については保険業法第272条の12に基づき、財務の健全性の確保の観点から預金及び国債等の安全資産に限定した運用を行う方針であります。

運用管理体制については内部規定に従って取引を行い、財務経理部において記帳及び取引先との残高照合を行っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

平成24年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については次のとおりです。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
現金及び預貯金	1,429,847	1,429,847	—

現金及び預貯金 時価は帳簿価額にほぼ等しいことから当該帳簿価額によっております。

1 株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	53,289円66銭
1株当たり当期純利益金額	1,844円56銭

その他の注記

追加情報の注記

当事業年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24条 平成21年12月4日)を適用しております。